

株式会社カーチスホールディングス (東証2部 7602)
平成27年3月期 第2四半期決算短信説明資料

平成26年11月6日



ご注意:当資料に記載されている内容は、資料作成時点の当社の判断に基づくものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

目 次

【1】平成27年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

- ①自動車流通業市場の背景
- ②業績ハイライト
- ③貸借対照表
- ④損益計算書
- ⑤キャッシュ・フロー計算書
- ⑥通期業績予想の修正

【2】定時株主総会の決議に伴う資本政策の実施

【3】営業施策進捗

- ①新規出店計画
- ②中古車輸出事業の推進



【1】平成27年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

①自動車流通業市場の背景

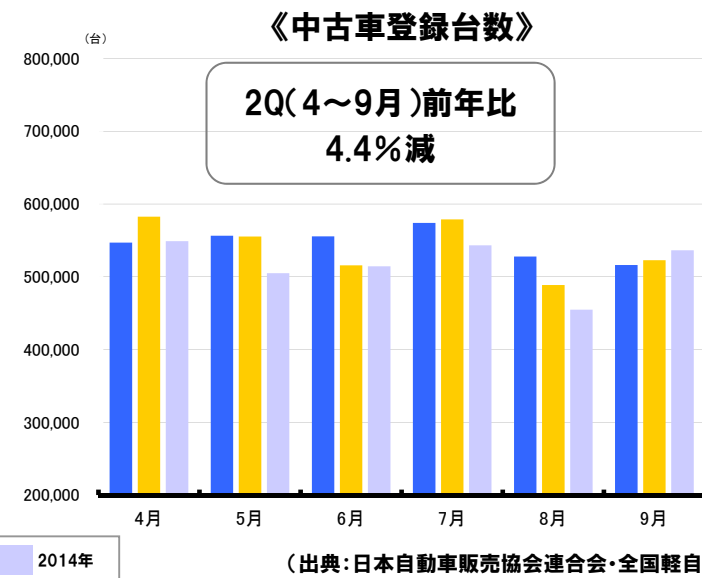
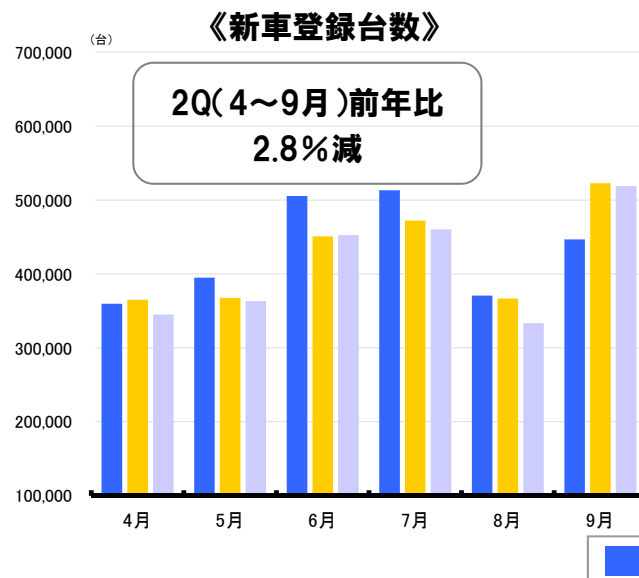
■ 2014年第2四半期の自動車市場(軽自動車含む)

新車登録台数 = 247.3万台(前年同期比2.8%減)

中古車登録台数 = 310.2万台(前年同期比4.4%減)

新車 ⇒ 消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響により、前年比2.8%減少、下期も前年割れが続く見通し

中古車 ⇒ 消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減が影響し、前年同期比4.4%減少、今後も厳しい市場環境が続く見通し

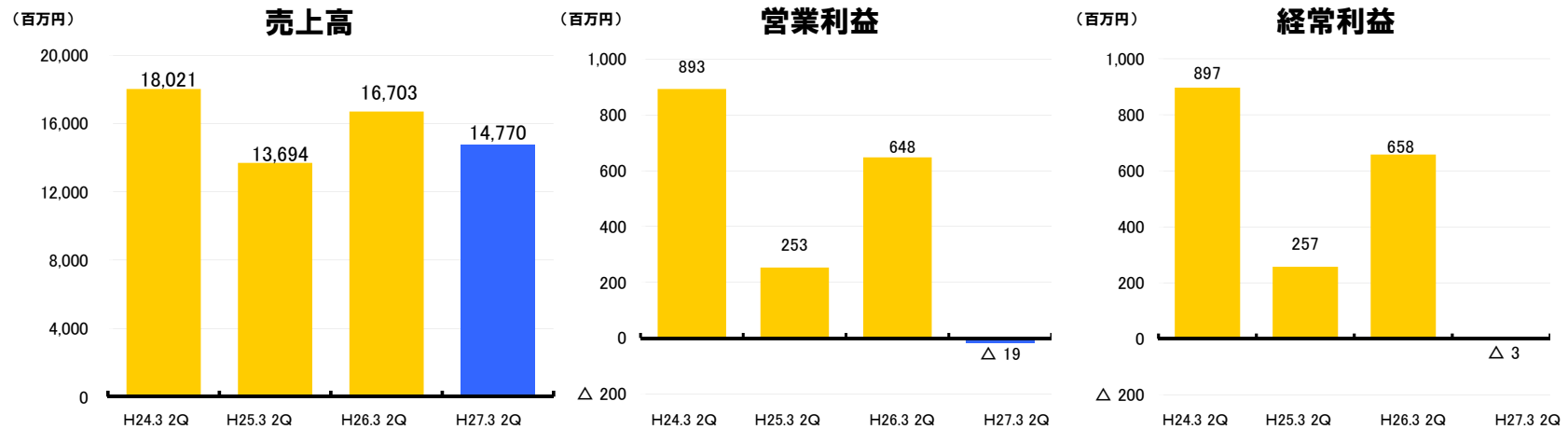


【1】平成27年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

②業績ハイライト

2Q単独では黒字に回復 累計では小幅赤字まで回復

【2Q累計】	売上高	14,770百万円（前年同期比 88.4%）
	営業利益	△19百万円（前年同期648百万円）
	経常利益	△3百万円（前年同期658百万円）



【1】平成27年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

③貸借対照表

(単位:百万円)

	平成27年3月期 2Q	平成26年3月期末	前期末比
流動資産	7,828	7,768	100.8%
固定資産	1,425	1,074	132.7%
総資産	9,254	8,843	104.6%
流動負債	2,027	1,678	120.8%
固定負債	260	223	116.6%
純資産	6,966	6,941	100.4%
負債・純資産合計	9,254	8,843	104.6%

《補足説明(前期末比)》

- ✓ 流動資産 : 前期末比59百万円増加 現預金375百万円、売掛金78百万円増加、商品636百万円減少
- ✓ 流動負債 : 前期末比348百万円増加 短期借入金225百万円、預り金204百万円増加、未払法人税等102百万円減少
 - ▶ 流動比率386.1% (前期末 462.8%)
- ✓ 純資産 : 四半期純利益20百万円の計上
 - ▶ 自己資本比率75.2% (前期末 78.4%)



【1】平成27年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

④損益計算書

(単位:百万円)

	平成27年3月期 2Q	平成26年3月期 2Q	前年同期 増減率
売上高	14,770	16,703	△11.6%
売上原価	11,913	13,223	△9.9%
売上総利益	2,857	3,480	△17.9%
販管費	2,876	2,831	1.6%
営業利益	△19	648	-
経常利益	△3	658	-
四半期純利益	20	544	△96.3%

《補足説明》

- ✓ 売上高 : 消費増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響により、取引台数および取引単価が下落したことにより、減少(前年同期比11.6%減)
- ✓ 売上総利益 : 売上高の減少、市況の悪化に伴う利益率の低下により、17.9%減少(前年同期比)
- ✓ 販売管理費 : ブランディング費用や新規出店による地代家賃の増加等により、1.6%増加(前年同期比)
- ✓ 営業利益 : 売上高、売上総利益の減少により、営業損失を計上



【1】平成27年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

⑤ キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成27年3月期 2Q	平成26年3月期 2Q
営業活動によるキャッシュ・フロー	495	887
投資活動によるキャッシュ・フロー	△352	△37
財務活動によるキャッシュ・フロー	233	2
現金及び現金同等物の期末残高	3,488	2,763

《補足説明》

- ✓ 営業CF :税金等調整前四半期純利益55百万円。たな卸資産637百万円の減少、前受金70百万円の増加等のプラス要因により増加
- ✓ 投資CF :投資有価証券取得による支出270百万円、有形固定資産の取得による支出63百万円、連結範囲変更に伴う子会社株式取得による支出9百万円等のマイナス要因により減少
- ✓ 財務CF :短期借入金の借入による収入270百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入10百万円等のプラス要因により増加



【1】平成27年3月期 第2四半期累計期間決算の状況

⑥通期業績予想の修正

■ 通期業績予想の修正 (平成26年10月31日プレスリリース)

上半期:消費増税の駆け込み需要の反動減が大きく影響し、当初予想を下回る

通 期:上半期の業績および今後の自動車業界の市場状況の見通しを勘案し、下方修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成26年5月14日発表)	百万円 35,000	百万円 1,250	百万円 1,260	百万円 1,120	円 銭 47.47
今回修正 (B) (平成26年10月31日発表)	31,000	300	330	300	12.72
増減額 (B - A)	△4,000	△950	△930	△820	
増減率 (%)	△11.4	△76.0	△73.8	△73.2	
(ご参考) 前期実績 (平成26年3月期)	34,071	1,396	1,420	1,268	53.75

(注) 「1株当たり当期純利益」は、平成26年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施したため、当該株式併合を考慮し算定しております。なお、前期実績の「1株当たり当期純利益」についても、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。



【2】 定時株主総会の決議に伴う資本政策の実施

■ 減資(資本金・資本準備金の減少並びに剰余金処分)

	減資効力発生前 (平成26年3月31日)	減資効力発生日 (平成26年8月5日)
資本金	14,452百万円	2,703百万円
資本準備金	3,616百万円	734百万円
繰越利益剰余金	△19,226百万円	繰越欠損金一掃

■ 株式併合(普通株式10株を1株に併合)

	株式併合効力発生前 (平成26年9月30日)	株式併合効力発生日 (平成26年10月1日)
発行済株式総数	236,394,091株	23,639,409株
発行可能株式総数	492,932,364株	50,000,000株

✓ 子会社からの配当を実施(平成26年9月24日プレスリリース)

▶ 利益剰余金を計上したことに伴い、

▶ 株主還元施策を機動的に実施可能な環境を確保



【3】 営業施策進捗

① 新規出店計画

今期10店舗出店予定

- ✓ 10月26日(日)「カーチス新潟桜木インター」店オープン(今期5店舗目)
 - ・来店査定や無料出張査定によるクルマ買取のみならず、展示車両を充実させ、店頭販売に注力
 - ・サービス工場を併設し、オイル交換・各種点検・整備など充実したアフターサービス体制
- ✓ 福岡県福岡市への新規出店決定(オープン日未定)、
- ✓ 「コジマ」および「コジマ×ビックカメラ」店への出店を含め検討中

■消費増税の影響による業績低迷からの早期脱却に向け、新規出店および効率的な店舗配置を目指す

100店舗体制の構築に向け、新コンセプトでの店舗展開を積極的に実施



【カーチス新潟桜木インター(2014年10月オープン)】



【3】 営業施策進捗

②中古車輸出事業の推進

■株式会社アガスタの株式取得(平成26年7月23日プレスリリース)

- ・当社の資本・業務提携先である株式会社ウェブクルー(東証マザーズ:8767)より、同社の連結子会社である株式会社アガスタの株式を50%取得し、持分法適用関連会社とする
- ・年間約120万台の市場規模である中古車輸出事業にアガスタを通じて本格参入



- ✓ 当社の株式取得後、円安を追い風にアガスタの業績は好調に推移
- ✓ 当社との取引台数も急増し、シナジー効果が顕在化
- ✓ 国内流通の拡大に加え、中古車輸出事業を積極的に推進し、アガスタとの更なる連携強化を推進



【アガスタが運営する「PicknBuy24.com」ホームページ】

